

第 6 次男女共同参画プランの評価方法（修正案）

各事業の所管課が、事業の進捗状況について事業ごとに達成度を 4 段階で自己評価する。その評価を数値化し、目標、施策の方向性、施策ごとにも取り組みの進行状況を管理する。

事業達成度の評価

評価は、4 段階方式による所管部署それぞれの自己評価とし、単年度でみた達成状況により、次のように区分します。

区分	評価基準	点数
A	・（指標や数値目標がある場合）達成した。 ・（指標や数値目標がない場合）予定どおり以上に事業を実施できた。	3 点
B	・（指標や数値目標がある場合）目標値は達成されなかったが、前年度より数値が改善（向上）した。 ・（指標や数値目標がない場合）概ね予定どおり事業を実施できた。	2 点
C	・（指標や数値目標がある場合）前年度より数値が後退（減少）した。 ・（指標や数値目標がない場合）事業を実施したが、改善の余地がある。 ・事業を実施したが、一部未着手だった。	1 点
D	・事業を実施していない。	0 点

【取組実績報告イメージ】

【個 票】

事業 No.〇 〇〇に対する講座・セミナー

	事業実績	評価	評価の説明・理由	今後の対応 次年度の課題 等
R 5	〇〇セミナーを、 〇〇人参加で実施した。	B	〇〇について、予定通り実施し、啓発できた。	セミナーの応募人数が伸び悩んでいるので広報方法を工夫する。

【全 体】

事業の実施状況

総事業数 7 8 事業			
A 評価	B 評価	C 評価	D 評価
○事業 (%)	□事業 (%)	△事業 (%)	◇事業 (%)

【各事業評価一覧表イメージ】

事業番号	R 5	R 6	R 7	R 8
1	B	B	A	B
2	B	A	B	A
3	A	B	B	A
...	C	B	B	B
7 8	B	B	A	B
平均点	2.25	2.5	2.65	2.75